

## 第3回全国邦楽合奏フェスティバル IN 金沢

## 準備 着々と

平成27年7月25、26日に石川県金沢市の石川県立音楽堂で第3回全国邦楽合奏フェスティバルが開催されます。現在26日の邦楽合奏コンサートには全国から公募申し込みが20曲(応募は締め切られました)、講習曲の「雪月花によせて」と「ダンス・コンセルタント」、そして石川県箏曲連盟と高校生による特別枠2曲の24曲が演奏されます。それに先立つ、25日には人間国宝、富山清琴による地

歌・語り物ワークショップ、藤原道山による尺八のワークショップ、吉崎克彦による「雪月花によせて」講習会、十七絃基礎講習会、星田一山講習会「尺八を上手に吹く基礎の基礎」、それに藤原道山(尺八)、帯名久仁子(箏)、山田瑞恵(和太鼓)コンサートも予定され、豪華なゲスト陣による多彩な企画が予定されています(6ページ)。

## 特集 全奏協初の海外公演 IN 上海



2014年8月1日、全奏協初の海外公演が在上海日本国総領事館アジア文化センターのこけら落とし事業として行われました。日本からは総勢9名が参加し、中国人を中心とする100名以上の聴衆と演奏や楽器体験を通じて交流を深めました。その模様を2~3ページに特集として掲載します。

## 第3回全国邦楽合奏協会邦楽コンクール



が参加できる新部門を創設しました。従来の「熟」の部(60歳以上)、「達」の部(59歳以下)に加え、「萌」の部(小中高生)を創設し、各世代への参加を呼びかけました。その結果参加者の幅が広がりました(関連記事 5ページ)。

2014年7月20日(日)に大阪市此花区のクレオ大阪西ホールで、第3回邦楽コンクールを開催しまし

た。3回目を迎えた今回のコンクールからは、さらに参加年齢層を広げ、子供の参加も呼びかけ、子ども

第3回全国邦楽合奏協会邦楽コンクールでの記念写真

## 平成27(2015)年度の主な日程

今年最大のイベントは北陸新幹線も開通した金沢での第3回全国邦楽合奏コンサートです。和文文化が色濃く残る、加賀百万石の城下町でのイベントは楽しみです。さらに、去年は、船の事故で幻となった、5月3日に開催される韓

国釜山での韓日伝統音楽祭では指揮者の稲田康氏のご参加を得て、総勢24名の全奏協・韓日伝統音楽祭デレゲーション(派遣団)が決まりました。大きなイベントが2つもあるので会員の協力が欠かせない2015年度となりそうです。

日程	項目	開催地
5月3日(日)	韓日伝統音楽祭	韓国 釜山
6月6日(土)	総会	東京 新宿
7月25日(土)~26日(日)	第3回邦楽合奏フェスティバル	石川 金沢
8月9日(日)	第4回邦楽コンクール	大阪 寝屋川

## 主な記事

- 2~3ページ 初の海外後援 上海公演
- 4ページ 2015韓日伝統音楽祭、5月3日釜山で開催
- 5ページ 第3回邦楽コンクール
- 6ページ 理事長ごあいさつ

告  
2015年度総会は6月6日(土)  
東京・新宿NPO協働推進センター  
2時から 開催します！

# 特集 全奏協、初の海外公演!

2014年8月1日、全奏協初の海外公演が在上海日本国総領事館アジア文化センターのこけら落とし事業として行われました。日本からは総勢9名が参加し、中国人を中心とする100名以上の聴衆と演奏や楽器体験を通じて交流を深めました。

## 演奏会までの経緯

2014年8月1日上海にある日本国総領事館の文化センター改修され、こけら落とし邦楽演奏会が開催されました。このコンサートは中国で邦楽普及活動に取り組んでいる名村茂代全奏協理事に、在上海日本国総領事館広報文化センターから邦楽コンサート開催の話をした

だきました。当初は箏の単独コンサートという総領事館の提案でしたが、様々な和楽器を紹介したいと考え2014年6月7日、東京、新宿で開催された全奏協総会に議案として提出し国際交流事業として承認されました。

6月中旬、コンサート日時が正式決定にあわせ、ただち



全員での千鳥の曲(吉沢検校作)の演奏

に全奏協ホームページ、メーリングリストを通じて、現地集合、現地解散、演奏楽器は持参、渡航費は自己負担という条件で、出演者募集の告知を行いました。その結果、関東、関西、四国から尺八3名、箏2名、三弦1名、琵琶1名の応募があり、それに加え

て舞台スタッフ、広報・調整各1名の合計9名で全奏協上海演奏派遣団(名村茂代団長)を結成しました。

7月下旬、在上海日本国総領事館広報文化センターホームページに演奏会が告知され、数日で130名の予約が入り締め切りとなりました。



写真 左から夕顔(菊岡検校作曲)の三曲演奏。アメイジンググレース(賛美歌)。讃歌(沢井忠夫作曲)の演奏。下は琵琶の説明をする立花理事



## 総領事館の出迎えに感謝!!

派遣団員は29日~31日に上海入りしました。その都度、総領事館からは公用車で担当領事自ら空港まで出迎えていただきました。31日14時か

らリハーサルが行われました。この文化センターはコンサートホールではないので専門の部隊スタッフはおらず、リハーサルの

合間を縫って舞台設営、司会進行、楽器搬入、理事長挨拶・全奏協紹介のDVD上映の準備を行いました。



## 「邦楽」に興味津々、上海の人々!

8月1日16時から通しリハーサルが行われた。前日リハーサルで急遽演奏が決まったアンコール曲、中国伝統民謡の「茉莉花(ジャスミンの花)」も何とか形になりリハーサルを終了。日本で製作した中国語の尺八、三弦、琵琶の紹介資料を領事館スタッフの協力で中国語訳に手を入れていただき、事前に椅子の上に配

布し、準備完了です。

18時15分開演。当日は台風12号の影響で上海市内も朝から雨だったがリハーサル中には上がり100名以上の聴衆が来場しました。開演までの待ち時間を利用して、総領事館所蔵の日本の風景VTR、全奏協の活動記録VTRを上映し、雰囲気盛り上げました。

18時45分開演。演奏家の紹介に続き、名村団長がメモを片手に中国語で挨拶を行い、開場が和んだところで、全奏協、藤本玲理事長のビデオメッセージが紹介された。引き続き、日本を代表する箏の演目、さくら・春の海(宮城道雄作曲)(名村、立花呂萌山)で開演。2曲目の前に高橋連海山による尺八の紹介、続いて古

典本曲雲井獅子(立花、高橋連、高橋創)、3曲目は高橋雅芳による箏独奏、讃歌(沢井忠夫作曲)です。演奏前に名村による箏の紹介がありました。本コンサートは和装を基本としていますが、讃歌は手の動きが速く着物では演奏が難しいため洋装での演奏となり、そのことも合わせて通訳していただいた。4曲目の琵琶尺八による祇園精舎(石田さえ作曲)の前に立花が琵琶の紹介を行いました。現在も演奏されている中国琵琶との違いなど、絶妙な説明に興味を持たれた参加者も多く、演奏が始まると写真撮影が続きました。5曲目は三曲合奏として古曲の夕顔(菊岡検校作曲)。演奏前に高橋雅楽郁が三弦の説明を行いました。6曲目は全員で古典曲の千鳥の曲(吉沢検校)を合奏しました。



**外** 国での演奏では、ミーティングを行う場所を探すことも容易ではないです。今回は、上海に慣れたスタッフの参加で、結団式、打ち上げがスムーズに行えました。特に打ち上げは終演後となり、日本国内では、さほど遅い時刻でないですが慣れない外国では9人が一同に会食の出来る店を見つけることが難しいです。今回、スタッフで参加した2名の尽力もあり、美味しい中国料理の店で珍しいお酒もいただきながら食事をする事ができました(れ)。

## 体験コーナーも大人気



休憩時間を利用しての和楽器体験コーナーでは多くの方が、積極的に参加し、演奏を試みていました。中国の方々の積極さ、日本文化への興味の高さには感心させられる一幕でした。

第二部は中国でも人気のジブリメドレー「さんぽ・風のとおり道・となりのトトロ」で演奏を再開しました。耳なじみの曲なので聴衆の反応も良かったです。アンコールは尺八によるアメイジンググレイスです。昨日のリハーサルで急遽演奏が決まった中国伝統

民謡の「茉莉花(ジャズミンの花)」はいろいろな編曲があり一晩かけて楽譜の準備をするという苦勞もありましたが演奏が始まったとたん参加者から笑顔がこぼれ、苦勞のしがいがありました。終演に際して全奏協を代表して立花常務理事が挨拶を行い、参加者から沢山の拍手をいただきコンサートは終了です。終演後も多くの聴衆が会場に残り楽器の体験を行い、記念写真をとるなど、音楽を愛する日中の人々の交流がつまでも続きました。

写真左上、琵琶を指導する坂上聖子、右上、箏を指導する名村茂代、左下、尺八を指導する立花呂萌山、右下、三味線を指導する高橋雅楽郁。

## 見えてきた課題

コンサートの正式決定から1ヶ月半程度の短い時間で、無事コンサートを終了することができたのは、総領事館のバックアップだけでなく、手弁当でコンサートに参加して下さった演奏者、スタッフの協力があったからこそと、心から感謝しています。総領事館からも高い評価をいただき、参加者からのアンケートも好評とのことで次につながるお話をいただきました。

反省点としては、全奏協のPR資料が少なかったことです。総領事館からチラシ、ポスターなどあれば欲しいとのリクエストに応えられません

でした。「紙」として残すことは難しくともDVDやスライド写真等デジタルデータとして残す必要性を感じました。第二に、現地集合現地解散とスケジュールに余裕が無く、現地の演奏家とのコラボレーションや交流が出来なかった点です。第三に海外での演奏では、箏などの大型楽器の輸送の問題が立ちほだかります。団体としてツアーを組むことや、航空会社と事前交渉をすることなど検討課題としてあげられます。最後にスタッフの必要性です。今回は2名のスタッフが、総領事館との打ち合わせ、舞台設営等行な

い、プログラムが遅延することなく終了できました。今後、和楽器にも、現地の事情にも精通したスタッフの養成、充実が求められます。

今回のコンサートを次回に活かし、これからは邦楽を様々な国に紹介する活動を行ってまいります(全奏協上海派遣団名村茂代団長の在上海日本国総領事館広報文化センター邦楽コンサート報告書を再構成しました。写真はいずれも梶田誠氏)。

写真 暖かい拍手で演奏を聴いていただいた聴衆の皆さん(上)。終演後、領事館の皆さんとの記念撮影。



## 総領事館前には武装警官が！！

7月31日はリハーサルで、8月1日は演奏会で、在上海日本国総領事館を訪れました。総領事館の門の前には中国の武装警察官の姿が。

8月1日15時ホテルに集合し、総領事館に向かいます。中国にある在外公館には、武装警官が門前に常駐しており、入館者を厳しくチェックします。演奏者全員が個々に手続きをとったのでは時間もかかり、何かトラブルが発生したときは、演奏会自体が中止になりかねません。そのため、入館手続きの手間を省くためと、派遣団の安全を考え、領事館差

し回しの公用車(ミニバン)に全員が乗り込みフリーパスで入館しました。総領事館の車はフリーパスで敷地に入れるからです。

次の関門は、建物への入館です。盗聴を警戒して、スマホなど全員の通信機器を建物の入り口で警備員に預けます。

館内の廊下は結構複雑に入り組んでおり、日

本を紹介する図書や写真が置かれた書架がならば小さな図書室を通過した後、ホールに入ります。他の部屋への入室は堅く禁止されています。それでも、通訳を担当した領事との打ち合わせで、コピー機のある部屋には入れてもらえました。外交の最前線を垣間見ることができました(写真 記事とも「れ」)。



総領事館を警備する中国武装警官と入館許可証

## 韓日伝統芸術交流音楽会詳細決まる

昨年5月の釜山市での朝鮮通信使祭に併せて計画した韓日伝統音楽祭が直前のセウォル号の沈没事故によって中止されました。

この音楽祭を改めて開催しようとの強い思いの下、昨年秋から国立釜山国楽院と打ち合わせを重ねてきました。徐仁華(So In-Hwa)院長も同じ思いで賛同していただき、昨年同様の企画で5月3日に「韓日伝統芸術交流音楽会」を釜山国楽院で開催することになりました。

午前の部の日韓伝統音楽シンポジウムでは、藤本玲理事長ほか田中隆文氏、釣谷真弓氏がパネリストとして立ち両国の伝統音楽の現状、交流発展、両国伝統音楽・芸能の類似性と相違性などを討論します。続いて箏/カヤグム、三弦/ヘグム、尺八/テグムを組みとした両国楽器の体験も行います。夜の部は韓日伝統音楽交流演奏会で、全奏協は「子供のための組曲」と「八千代獅子」、合同演奏として「アヒラン」および「ソーラン節」を演奏します。

この交流音楽会に併せて、5月1日には筆者と学术交流の関係にある韓国海洋大学の合唱団「Sea Cross」と徳島邦楽集団と

交流のある釜山で活動する韓国国楽研究会「オウルリム」との合同で交流会を計画しました。これには石田さえ作曲の尺八、箏、琵琶のための「『友』～韓国～」と「子供のための組曲」を演奏する予定です。

日本からの参加メンバーは、オーケストラ・アジアの稲田康先生に指揮をお願いし、箏6、十七弦2、三弦1、琵琶1、尺八10、打楽器1ほか計24名です。

3月13、14日には山上理事と共に在釜山日本国総領事館、国立釜山国楽院、オウルリムそして韓国海洋大学を訪問し、打ち合わせを行いました。この事業に対してすべての方々が大変協力的で、素晴らしい成果が得られるものと期待しています。

今年は日韓国交正常化50周年に当たります。様々な行事が日本、韓国で開催されますが、この事業が両国の友好のための力強い礎になることを願いつつ、その目的を果そうと思います。

(理事 英 崇夫)



前列、右から2番目の女性が国立釜山国楽院徐仁華院長。前列右端が筆者。背後に見える円形の建物が韓国の伝統楽器龍鼓をモチーフとした大劇場の蓮楽堂



蓮楽堂(698席)で子供向けミュージカルのリハーサル。手前のオーケストラビットでは韓国伝統楽器でミュージカルの伴奏演奏をしていた



釜山中央洞にある韓国国楽合奏団オウルリムの練習場。今回、音楽交流会を開催する会場となる(上3枚の写真はいずれも、2014年5月に撮影)

## セウォル号事故犠牲者哀悼演奏

2014年5月4日に国立釜山国楽院、全国邦楽合奏協会、釜山文化財団、在釜山日本国総領事館の共催で計画していた2014年朝鮮通信使祝祭の一環としての韓日伝統音楽祝祭は、4月16日に発生したセウォル号沈没の事故により中止を余儀なくされました。

その代わりとして、2014年5月3日 あったメンバーのうち15名が、徳島日に伝統音楽祭に参加予定で 邦楽集団と交流のある韓国釜山\



写真上 神仙調短章(星田山作曲)の演奏。下は韓国国楽合奏団オウルリムの追悼演奏。背景には黄色いリボンをあしらった、ハンングルの横断幕が張られている

市)の国楽演奏グループ「オウルリム」との合同でセウォル号の犠牲者のための哀悼コンサートをすることを計画しました。

釜山市中央洞の国際市場にある韓国伝統料理店「풍류고택(プンリュゴタク)」のオーナーに会場を提供していただき、小さいコンサートを開催することができました。料理店オーナーの知人の方々のほかに、国楽院のSo In-Hwa院長、Kim Il-kyu氏、在釜山日本国総領事館の國田達夫領事、韓国海洋大学の金允海先生ご夫妻など30名ほどがこのコンサートに参

列してくれました。当日のコンサートでは、演奏に先立ち全員で黙とうを行い、その後、日本のグループが、神仙調短章、六段、調子、夕顔を、そしてオウルリムからは、合奏曲とヘグム独奏曲が演奏されました。それぞれの曲の演奏の後には拍手を遠慮してもらいましたが、しめやかな内に大変意義深い哀悼コンサートになったと感じています。

演奏後、会場の方々からは、哀悼コンサートを開催したことに対して、多くの感謝の言葉をいただきました。(理事 英 崇夫)

## 第3回全国邦楽合奏協会邦楽コンクール結果

(1ページから)

2014年7月20日(日)クレオ大阪西ホールで、第3回全国邦楽合奏協会邦楽コンクールが開催されました。審査は、石川憲弘(箏曲演奏家)、田中隆文(邦楽ジャーナル編集長、全奏協副理事長)、藤本玲(全奏協理事長)、星田一山(尺八演奏家)、前田智子(作曲家)、吉岡紘子(箏曲演奏家)の各氏が担当しました。

熱演が繰り広げられたなか、以下の方々が見事受賞なさいました(麻植)。



【達の部】(大学生以上59歳以下)最優秀金賞の渡部志津子さん(大阪)演奏曲目は「翔き」



【萌の部】(小中高在籍)最優秀金賞の松竹夏鈴さん(大阪)。演奏曲目は箏譚詩集「やがて春が」



【萌の部】(小中高在籍)審査員奨励賞の啓新高等学校日本音楽部の皆さん(福井)演奏曲目は「松籟譜」



【萌の部】(小中高在籍)全奏協賞の鹿野竜靖さん。演奏曲目は「みだれ」



【萌の部】(小中高在籍)審査員奨励賞の佐藤結有さん。演奏曲目は「子供の情景」



【熟の部】(60歳以上)実行委員長賞の林隆一さん(兵庫)。演奏曲目は「竹籟五章」

## 第4回全国邦楽合奏協会邦楽コンクール参加者募集

- 開催部門 「熟の部」「達の部」「萌の部」各独奏(4分)合奏(6分)
- 応募条件 (1)2015年4月1日現在で出場者の年齢  
「熟の部」60歳以上 「達の部」59歳以下 「萌の部」小中高在籍  
(2)使用楽器は尺八・箏・三弦(地唄に限る)・篠笛  
(3)演奏ジャンルは自由、1パート複数での演奏も可
- 応募方法 チラシ裏面の申込用紙に記入して下記住所まで郵送(原則として郵送での先着順30組まで受付。応募状況により抽選)〒586-0018 大阪府河内長野市千代田南町5-8 麻植方全国邦楽合奏協会大阪連絡支部 宛
- 応募期間 2015年4月1日(水)から7月8日(水)までの消印有効(定員になり次第終了)
- 審査費用 「熟の部」「達の部」 独奏 10000円 合奏 一人あたり 8000円  
「萌の部」 独奏 5000円 合奏(4人まで)15000円 (5人以上)20000円
- 審査員 石川憲弘(箏曲演奏家) 倉橋容堂(尺八演奏家)  
田中隆文(邦楽ジャーナル編集長 全奏協副理事長)  
藤本 玲(全奏協理事長) 星田一山(尺八演奏家)  
前田智子(作曲家) 吉岡紘子(箏曲演奏家)
- 表彰 出場者全員に金賞・銀賞・銅賞のいずれかを授与し、各部門ごとに金賞受賞者の中から最優秀を1組選定する(該当無しの場合もある)
- 賞品 「熟の部」「達の部」の最優秀賞は各3万円と賞状  
「萌の部」は賞状とトロフィー 他に全奏協賞、審査員奨励賞、実行委員長賞 出場者全員に「審査員講評」を後日郵送
- 日時: 全奏協大阪連絡支部HP <http://zensokyoosaka.upper.jp/> 参照  
2015年 8月9日(日)12時開始
- 会場: 寝屋川市立地域交流センターアルカスホール(350席)  
大阪府寝屋川市早子町12-21 京阪本線「寝屋川」駅東口徒歩3分
- 入場料: 無料(整理券不要)
- 主催: NPO法人全国邦楽合奏協会(全奏協)

<http://zensokyo.org/>

## ごあいさつ

全国邦楽合奏協会を立ち上げたいと、呼びかけた仲間と大阪に集まって早5年。翌2011年にはNPOに認証され、2012年の徳島国民文化祭では「全国邦楽合奏フェスティバル」が文化庁助成事業に採択されました。その中で全国邦楽合奏協会誕生公演を開催し、幸先良いスタートを切りました。

2014年2月には東京三鷹で念願の第2回フェスティバルを主催しました。立花茂生実行委員長

を筆頭に素晴らしい実行委員に恵まれ成功裡に終了。特に三鷹市邦楽連盟大浦美紀子会長には格別のお力添えをいただき心より御礼申し上げます。

昨年5月の日韓伝統音楽祭はセウォル号事件で中止となりましたが、有志による追悼コンサートを開催できました。非公式でしたが在釜山日本国領事館領事や釜山国楽院院長の参加をいただきました。延期となった同事業は、くしくも「日韓国交50周年」の大きな節目の年にあたる今年5月3日に開催することが決ま

りました。幸運です。

7月の「邦楽コンクール」は、麻植武志理事を中心に関西連絡支部の会員の皆様のご支援のもと確実に成長を遂げ今年第4回を迎えることができます。

また、海外公演初となった上海でのアジア文化センターこけら落とし演奏会は名村茂代理事を団長に大成功を収めました。

「第3回フェスティバル」は金沢での予定です。お陰様で演奏会、講習会等延700名の参加を得ることができました。



藤本玲 全奏協理事長

関係各位に感謝申し上げますとともに、5年の歳月をかみしめ心新たに全奏協事業に邁進していきたいと思います。

全国邦楽合奏協会  
理事長 藤本 玲

## 第3回全国邦楽合奏フェス(金沢大会)せまる

2015年7月25日(土)、7月26日(日)に石川県立音楽堂邦楽ホール(720席)・交流ホール(石川県金沢市昭和町20-1(金沢駅東口徒歩1分))で、開催される第3回全国邦楽合奏フェスティバル(フェス)の内容も決まり、実行委員

会は準備に余念がありません。

25日にはフェス全体曲でもある吉崎克彦「雪月花によせて」、あわせて、吉崎克彦「十七弦基礎」の講習が行われます。また尺八は藤原道山による「効率的な音の出し方と

指の技法」星田一山による「尺八を上手に吹く基礎の基礎」と二つの企画が組まれています。さらに人間国宝富山清琴による「地歌・語り物入門」講習会は「古典派」でなくとも見逃せない企画です。夕刻からは藤原道山×帯名久仁子×山田瑞恵 コンサートも予定されています。

26日はこのフェスのメインイベントでもある全国邦楽合奏コンサートです。全体曲の「雪月花によせて」と「ダンス・コンサルタント」の2曲と公募申し込みによる2

0曲にくわえ石川県箏曲連盟と高校生による特別枠2曲の合計24曲が披露されます。

第1,2回フェス同様、好評だった和楽器体験、箏糸締め実演などの展示コーナーも設けられます。

交流会もこのフェスの楽しみの一つです。25日のワンコイン交流会、26日「全国邦楽合奏フェスティバル」交流会が予定されています。北陸の美味しい地酒が堪能できるかも。

参加料など詳細は  
[www.zensokyo.org](http://www.zensokyo.org)  
でご確認下さい。

### 【問い合わせ先】

電話：070-5364-2803(石井)  
090-4500-9614(藤本)  
電子メール：  
[fes3@zensokyo.org](mailto:fes3@zensokyo.org)



写真 金川県立音楽堂 正面玄関前。今回はこの邦楽ホールなどで開催(ウイッキベディアから引用)。

## 人声転合

英語でNSEWと書けば東西南北と方位を表します。進路北北東なら少し昔はコース・ノーノーイー(今は22.5)と船の操舵手は復唱しますが今ではオーパイと呼ばれる自動操舵装置があり進路を予め定めると目的地まで行きます◆鉄道も一端乗れば寝ていても目的地に着きます。1964年10月に東海道新幹線が開業しました。筆者は開業前の

9月15日に0系新幹線で東京・小田原間を試乗しその異次元のスピードにびっくり。その後700系まで新車両が登場しますが数字だけの型式表示でした。JR民営化以降JR東の形式番号にはE1と東を意味するEの記号がつき'07年に700系の後継としてN700系が登場。ニューのNとも言われています◆北陸新幹線が金沢まで開業したことでE7系「か

がやぎ」と同タイプのJR西所有のW7系「はくたか」が投入されました。数年後に開業する北海道新幹線では緑色のH5系というE5系型電車が走ります。Hはもちろん北海道の意味です。北陸新幹線の上越妙高以西の線路はJR西の所有物で東の始発駅は高崎です◆7月の邦楽合奏フェスには鉄道ファンの愛称である「鉄ちゃん」気分借金沢入りののも悪くない(れ)

## 編集後記

2015年は海外国内とも多くのイベントを抱える全奏協。6ページでの全奏協通信で、まかないきれるか、心配になりますが、マッコリ、金沢の地酒、美味しい魚が、心配を吹き飛ばすはず・・

(れ=通信担当 高橋哲也)